

あさひかわ自然共生ネットワーク通信

みどりの回廊

このまちをフィールドに、「自然」と市民をつなぐ緑の回覧板

vol. **23**
2026



旭川のおすすめ
シンボルネイチャー

特集 加盟団体が選んだ





あさひかわ自然共生ネットワーク

森と川「緑の回廊」。それは命の支えあい、そしてつながり!!

旭川・森と川ネット21

【連絡先】
☎・FAX 0166-55-0627(宮崎美知代 fax同)

入会者募集中 参加者募集中

旭川・森と川ネット21では、自然環境の改善を目指し、旭川市や河川事務所と話し合い河川敷や河畔林への観察、学習、調査等に取り組んでいます。
樹木と水が織りなす自然景観や生態系の保全復元の方をめざしています。森と川沿いに連なる自然が「緑の回廊」としてつながり、「川の街・旭川」が市民にとっても、生き物にとっても、住みやすい街であるよう活動に取り組んでいます。



外来植物の存在から在来植物(木本植物も含む)への影響を幅広く調査しています

旭川外来植物研究会

入会者募集中 参加者募集中

【連絡先】代表/尾崎良司
事務局 〒070-0866 旭川市住吉6条1丁目4-12
☎(携帯)090-5223-3799(尾崎方)

身近な自然に侵入する外来植物を調査することにより、自然環境への影響を明らかにすることを目的にできた団体です。最近では外来植物の侵入によって在来種が影響を受けるという話題が多くなっていますが、それらのことにも注目していきたいと考えています。特に特定外来種オオハコグサや指定外来種フランスギク・イワミツバ(ワリフワミツバも含む)に注目して観察、調査をしていきます。また、外来植物に限定せず在来種も調査し比較しながら実践していきます。私たちは50年間外来植物を研究しており、会員募集中です。入会希望の方はお電話ください(今年7月で会の名称を改め9年目を迎え、2026年度は51周年になります)。



石狩川を野生のサケのふるさとに!

あさひかわサケの会

入会者募集中

【連絡先】
〒078-8302 旭川市緑が丘2条1-1-23(寺島方)
☎・FAX 0166-65-1940
[e-mail]
terashima@potato.ne.jp
[Facebookページ]
www.facebook.com/asahikawasirosake

石狩川や支流の忠別川・愛別川に2011年の秋ごろからサケが群れをなして戻ってくるようになりました。「大雪と石狩の自然を守る会」による長年にわたる稚魚放流活動や、その活動に呼応した「水産総合研究センター」による「石狩川本流サケ天然産卵資源回復試験」(2009年3月より3ヶ年で計150万尾の稚魚放流)など市民と行政が一体となって取り組んできた事によるものです。現在、遡上してきたサケによる自然産卵・孵化したサケの稚魚たちがこの旭川市・近郊の河川を「ふるさと」とする自然循環が始まっております。「あさひかわサケの会」は、市民の有志が集い2013年スタートしました。現在会員201名。



創立 2013年

清らかな水と緑とホテルの里

旭川市西神楽ホテルの会

入会者募集中

【連絡先】代表/本田伸一 事務局/坂本征文
〒071-0171 旭川市西神楽南1条1丁目
西神楽パークセンター内 ☎0166-75-3669

[e-mail]
nishikagura@asahikawa-park.or.jp

本会は、正会員・賛助会員・法人会員を合わせて約100名の会員が所属し、「西神楽に再びホテルを飛ばす夢」を実現するため西神楽公園「ホテルの里づくり」にボランティアで活動しています。また、地元農家の皆さんと協働して自然環境豊かな水田地帯を目指し、ホテル幼虫やカワナ等の放流、水棲生物調査等、資源保全活動にも取り組んでいます。更に、活動拠点の西神楽パークセンター内では、ホテルの大量飼育装置を考案設置し、産卵・幼虫孵化・上陸・蛹・成虫の一連の過程を通した飼育を成功させ、これらの成果を毎年「ホテル祭り in 西神楽」として、公園内で一般市民の皆様へ公開しています。【活動予定】本年の「第28回ホテル祭り」は、7月下旬に予定しています。



遊び+和み+学びの場「旭山」へようこそ。

旭山を活かす街づくり市民の会

参加者募集中

【連絡先】
〒078-8251 旭川市東旭川北1条6丁目7-14-101
☎090-7815-0453
[e-mail]
asahiya.ikasuka@gmail.com
[Facebookページ]
www.facebook.com/asahiya.ikasuka

動物園がある旭山(標高295.2m)は、旭川市に編入される前(東旭川村・町)から周辺に暮らす人々の憩いの場、そして遊び・学びの場として親しまれてきました。地理上もここは「大雪連峰と旭川市の接点」で、貴重な動植物も存在しています。現在は旭川市が管理する「旭山公園」として、スレインの名所「旭山三浦庭園」を含めて全体の整備が進められています。春は桜の名所・秋は紅葉散策の場所としても知られるようになりました。トレイルランニングを楽しむ方も増えています。当会は旭山の利用・活用を促進するため地元の有志によって結成され20年。5月1日のお山開き散策会、春と秋の散策会と野外の茶会はどなたでも無料で参加できます。



子供たちの遊びと体験の場。アイヌの聖地、上川開拓の原点、豊かな自然。

嵐山ビジターセンター

入会者募集中 参加者募集中

【連絡先】
事務局 曾我部克則
E-mail arashiyama_1989@yahoo.co.jp
代表 表出 寛 ☎090-6267-6521
【会の公式サイト】
https://arashiyama-visitor-center.jimdofree.com/

今年も、恒例の3月の「かんじきツアー」から始まり、「キッズアート」、「嵐山星話」、「嵐山縦走ハイキング(6月、10月)」、「みみずく森の探検学校と森の交流会(8月)」、「1000本のキャンドルライト(12月)」に加え、若い運営員の発想で昨年から始まった「秋祭り」を今年も予定しています。写真は昨秋の「秋祭り」。

★友の会「トレブ」入会者募集中、一般会員2000円、家族会員3000円、維持会員5000円、いずれも年会費。



身近の自然を楽しもう!

緑の森ガーデン

【連絡先】
〒071-8138 旭川市末広8条8丁目5294番2
☎050-5318-5455 FAX 0166-76-5029
[e-mail] jyashinomori@bz04.piaa.or.jp
【会の公式サイト】
www.midorinomori-garden.com/gardenpark/
[Facebookページ]
「NPO法人癒しの森づくり」で検索

自然豊かな旭川の市街地の近くに、白樺に囲まれた、緑の森ガーデン、癒しの森があります。主に北国のシンボルツリー白樺をテーマに、身近の自然空間の中で、自然の植物に関わる体験の中で学び、楽しむ活動をしています。

4月【あさひかわ白樺樹液まつり】 6月【森を食べよう】
9月【森の恵みに感謝の日】 8月、12月の2回【森の工作】
その他体験：新割/空き缶でご飯炊き/焚火/石窯でピザ焼き/チェンソーアート/森歩きなど



緑豊かな地球を未来へ! ごみを出さない循環型社会を目指しています

Gaia(ガイア)21(旭川ごみ問題イニシアティブ)

入会者募集中

【連絡先】
〒070-0062 旭川市曙2条5丁目1-14 坂井律子
[e-mail] 25114rfsuko@gmail.com

物が溢れている社会ですが、そのほとんどがごみになっていると思いませんか?旭川市ではほとんどのごみを「貴重な自然財産」である山を削って埋め立ててきました。また、「ごみ焼却」にも多くの問題があります。

私たちは旭川の自然を守り、次世代に残すために「資源循環型社会」ゼロウェイスト都市を目指しています。旭川が良い方向に向かうよう提案実行していく市民団体です。

★ごみ問題に関心のある方入会大歓迎



構成団体

あさひかわ自然共生ネットワーク事務局

【連絡先】

〒070-8525 旭川市7条通9丁目総合庁舎5階 旭川市環境部環境総務課環境保全担当
☎0166-25-9790 FAX 0166-26-7654



突哨山の野の花でお花見を。

カタクリ楽団

参加者募集中

【連絡先】

☎080-6062-0937

【e-mail】

YQW10364@nifty.ne.jp

雪だけの春、日本最大級のカタクリ群落がある突哨山で、この街らしいお花見を楽しもうと毎年GWに「カタクリ・フォーラム」を開いています。当日は動植物の専門家が見頃となっているカタクリやエゾエンゴサクの場所までご案内する「自然散策ガイド」を行っております。1993年来の企画ですが、開催日は例年前後しますので、4月を過ぎましたらお気軽にお問い合わせください。ご参加お待ちしております。



未来を担う子供たちに誇れるふるさとづくり

特定非営利活動法人グラウンドワーク西神楽

入会者募集中



【連絡先】

〒078-8382 旭川市西神楽2線16号278の3
☎0166-75-5305 FAX 0166-75-5306

【e-mail】

info@gwnkagura.org

【会の公式サイト】

http://www.gwnkagura.org

地域の住民・企業ならびに行政がパートナーシップにもとづき、地域の環境改善と活性化のために各種事業に取り組むことによって、西神楽地域の開拓の歴史の中で育まれた豊かな土地と景観を財産として、子どもたちに誇れる未来ある「ふるさと」をつくり上げることを目的として活動しています。
【主な活動】○地域の「空き家」「空き地」の利活用と住民が暮らしやすい環境整備のための取組
○グリーンツーリズムの推進○河川利用の地域連携協働活用 ○フットパス・自然観察路の整備
○西神楽さと川パークゴルフ場の運営管理 ○地元中学校の環境教育の支援



力を合わせて大雪山のお花畑を守りましょう!

大雪山マルハナバチ市民ネットワーク

入会者募集中



【連絡先】

〒071-8144 旭川市春光台4条1-6-11 (福地方)
☎090-1303-9141 FAX 0166-54-2349

【e-mail】

fnjwp883@yahoo.co.jp

【Facebookページ】

www.facebook.com/daisetsuzanmaruhanabachi/

農業用ハウス施設野菜の交配用にヨーロッパ諸国より輸入され（輸入に当たっては昆虫学会や研究者からその危険性について指摘されましたが、政府は経済性を優先し輸入を認めました）、今や「特定外来生物」に指定された「セイヨウオオマルハナバチ」。大雪山系への侵入を防ぐことを目的に、周辺市町村住民への啓発諸活動を通して、セイウが蔓延している平地部でより多くの捕獲防除を行い、大雪山系への侵入を防止できることを願っております。毎年市民を対象に「捕獲体験バスツアー」4回、「捕獲実技講習会」、「学習講演会」3回、「昆虫関係施設訪問バスツアー」等を実施しております。現在会員52名。



未来に残そう、伝えよう! 生命育む大雪山と石狩川を

大雪と石狩の自然を守る会

入会者募集中

参加者募集中



【連絡先】

〒078-8302 旭川市緑が丘2条1丁目1-23
☎・FAX 0166-65-1940

【e-mail】

terashima@potato.ne.jp (寺島)

【会の公式サイト】

http://www.daisetsu.org/

大雪山と石狩川の自然がもたらす豊かな恵みを深く学んで賢く利用し、損なうことなく後世に伝えようとして川盆地を主な拠点に活動しています。
「大雪山を世界遺産に」「石狩川を野生のサケのふるさとに」などをキャッチフレーズに、調査・教育・保護・普及などの活動を市民の立場から幅広く行っています。大雪山講座「ひぐま大学」、石狩川講座「かわせみ大学」、市民学習会「ちゃらんけ」、「さげせみナール」、自然学園「グリーンフォーラム旭川」などの常設講座を設けています。1972年に創立し半世紀を超えて活動を続けています。どなたでも入会できます。できることをできる範囲で力をお貸し下さい。



「生物多様性の保全の視点から河川環境を考える」がモットーです。

忠別川の自然に親しむ会

【連絡先】

事務局

〒078-8371 旭川市旭神1条3丁目1-10

忠別川の自然に親しむ会 北島淳二

忠別川は忠別岳を源流とする流路延長59.2kmの川です。

私たちは神楽岡公園へツインハーブ橋間の忠別川河畔を活動エリアにしています。河畔に散策路をつくり、四季折々に変わりゆく自然の風景や景観を楽しんでいます。また、雪の水辺を歩く・春の水辺を歩く・春(秋)のクリーンウォーク・ヤナギ観察会・忠別川水辺めぐり・展示会・講演会(水辺の集い)・ボン川サケの稚魚放流会・河川環境の保全など、「市民と地域」が参加する集いを主催しています。



突哨山の保全と管理に関する活動を行っています。

突哨山と身近な自然を考える会

代表/羽羽 寛

〒070-0822 旭岡1-16-3 ☎・FAX 0166-54-7650

事務局/塩田 博

〒070-0040 10条通12号4 ☎0166-23-8744

【e-mail】dwa@af.wakwak.com

＜主な毎年の活動予定＞

5月初旬 カタクリフォーラム(カタクリ楽団と共催)
11月初旬 秋の観察会とイモ煮会
不定期 野の花グループ自然観察会

1991年ゴルフ場建設計画に反対して始まった突哨山と身近な自然を考える会の市民運動は、2000年に公有地化が実現。2004年にカタクリ広場 8500㎡を購入、様々な活動を行ってきました。昨年一応の役割を終えたことからカタクリ広場を旭川市に寄付しました。最近ではヒグマの出没が相次ぐ中でもカタクリフォーラム、芋煮会の活動は「野歩き(自然観察会)」だけに縮小してしまいましたが、今後の活動について検討していきます。



緑の視点から暮らし豊かなまちづくりを考えています。

緑の探検隊

代表/北村 武士

〒078-8251 旭川市東旭川北1条6-7-14-101

☎090-2872-5867 FAX 0166-36-5867

【e-mail】takemehigher2k1@outlook.com

「みどりの視点でまちづくりを考えよう」を合言葉に活動しています。今年で30周年を迎えました。

あえて分野を限定せず、身の周りの緑について幅広く関心を持つというゆるやかな市民の集まりです。旭川市内や道内のまちの緑の中を「探検」してその特徴などを知ろうとしたり(自然探検会)、みどり豊かなまちの理想像を他のまちと比較しながら考えたり(自然学習会)しています。緑の探検隊は最近自然に関心を持ちはじめた方のための「みどりの玄関」です。より良い暮らしに緑は不可欠。草花や樹木に興味のある方、探検会、学習会にどうぞご参加ください。



創立 1996年

森に近づき、森と遊ぶ

NPO もりねっと北海道

入会者募集中

参加者募集中



【連絡先】☎0166-30-9049

【e-mail】

ask@morinet-h.org

【会の公式サイト】

www.morinet-h.org

NPO もりねっと北海道は「森を活かし、人とつなぐ」を目指し、小さな森の手入れや森林公園の管理受託、環境教育などを行っています。活動フィールドの一つ、東鷹栖の山林はシラカンバやミズナラの混交林で、ほぼ毎月「森新塾」が開かれ、森の手入れをしながら、間伐した木で森のテラスや山小屋を建てています。森の将来像を考えながら森づくりを進める、チェーンソーの腕を磨く、焚き火を楽しむ。森で過ごす時間の楽しみ方はさまざまです。



高校生の体験間伐＝突哨山で

川の風景



石狩川で遡上サケが見られます！



住み慣れた土地にもかかわらず、こんな場所があったのかと驚かされる。見慣れた場所にもかかわらず、こんな自然があったのかとハッとさせられる。このような場面にもたつて、私たちは初めて見ているようで見えないものがたくさんあること、変化していないように見えながら一刻たりとも同じ姿をしていない自然の変化に気づかされる。足元にはこのような場所や自然がたくさん埋もれている。

旭川の大地は、火山活動に伴う噴出物からなる丘陵や、地殻変動でもたらされた山並みもあるが、その多くは大雪山から流れ出る石狩川と忠別川の扇状地で占められている。かつては原生林を縫って網状河川が広がり、数十万尾のサケが遡上する原始境だったが、開発の進んだ現在でも162本(実数136本、総延長613km)もの河川が流れ、架かる橋が157基もある。川のまちだ。最も身近にある自然の一つだ。

冒頭の気づきをたれにもいち早く教えてくれる恰好の場所である。橋の上から眺めるのもいい。堤防から水辺に降りて眺めるのもいい。その風景もさることながら、その空間にびっしり詰まっている生きものの多様性に目を見開かされる。とくに薦めたいのは冬と春。冬、真っ白いキャンパスに描かれる風景は、川の息づかいがわかるような別世界。春、生命の匂い立つような息吹を感じるパステルカラーの世界。まずは足を運んで見ませんか。



2025年秋！今秋も石狩川にサケが帰ってきました。2021年春に旭川を旅だった「サケ稚魚」たちが10倍以上に成長して戻ってきたのです。そして、子孫を残すべく産卵しているのです。

国土交通省北海道開発局 旭川開発建設部旭川河川事務所の調査では、石狩川58ヶ所・忠別川113ヶ所・牛朱別川5ヶ所の産卵床が確認されました。当会でも10月9日～11月13日まで、「サケ産卵床・ホッチャレ調査」を実施いたしました。毎年石狩川近文大橋から比布大橋間を調査しております。今秋は近文大橋上流部を中心に調査しました。近文大橋上流部の河川の流れ方が変わり、分流に大量の水が流入し、昨年まで大量の「産卵床」を確認できていた箇所が産卵不適箇所になってしまいました。また、今秋は「サケ遡上」が早まって9月中旬から下旬が「遡上の頂点」になっていたようです。当会では、市民の方々に「遡上サケ」の様子を見ていただくために「サケGuide」(観察マナーとサケの生態説明)を実施いたしております。今秋も10月11日～11月9日の土曜日・日曜日・祝日の午前10時から午後2時まで実施いたしました。しかしながら天候の関係(降雨・河川の増水等)でGuideを中止する事が多々生じました。「サケGuide」会場は、会場への案内明示の「のぼり立て」、土手からの「道の草刈」、左岸からの「サケ遡上見学の草刈」整備等を行っております。

「遡上サケ見学」のお奨めスポットは「石狩川近文大橋上流部左岸」です。右岸側の本流が中州によって分流し、左岸側に「湾処」ができています。この湾処が「サケ産卵適地」となっております。適時の「サケGuide」に是非「来遊ください」お待ちしております。



あさひかわサケの会

大雪と石狩の自然を守る会



旭山動物園の隣にたたずむ和風庭園・旭山三浦庭園には、夏になると美しく咲くスイレンの花を眺めようと多くの人々が訪れます。かつて三浦猛さんが丹精込めてつくりあげたこの庭園、10年前からそのまごころを旭川市が受け継ぎ、旭川市民の宝として管理・運営されています。

この旭山三浦庭園を含む旭山公園をフィールドに活動する市民の会「旭山を活かす街づくり市民の会」と、公園の管理を手掛ける「旭川市公園緑地協会」は、旭川文化連盟茶道部 清茶会の会員の皆さんの協力によって、庭園内で野外の茶会「野点(のだて)」を年に3回開催しています。

私たち旭山を活かす街づくり市民の会がおすすめる場所は旭山三浦庭園の池のほとりにある東屋(あずまや)。「こは野点の会場にもなっています。日常から離れ、ゆつくりと流れる時間をお過ごしになるのもよし、仕事を一時忘れ、旭山に吹く爽やかな風の流れを感じるのもよし。池には鯉が優雅に泳ぐほか夏には2000株のスイレンが美しく咲き、庭園内のあちこちに季節の花がみられます。秋は紅葉の名所としても知られています。

旭山の木々の芳香に包まれつつ、野鳥のさえずりを楽しみながら味わうお茶は格別です。野点は、旭山公園の散策会と同時に開催しています。参加は無料。多くの方のご参加をお待ちしています。



旭山を活かす街づくり市民の会

大雪山のお花畑を子どもたちに残したい！



春一番！庭の花壇にやってくる「コロンとした蜂」「黄色と黒のストライプお尻(腹部の先端)が白い！丸くて毛深い蜂。それが「特定外来生物」セイヨウオオマルハナバチです。

春先、越冬から目覚めた女王蜂が営巣のために「巣探し行動」を始めます。巣は土の中や壁と工作物の間(ネズミの巣跡を利用)などに造ります。物置や基礎コンクリートの換気口から出入りする事もあります。温室トマトの受粉に利用するためヨーロッパから輸入された「セイヨウオオマルハナバチ」が、トマトハウスから逃げ出し、野生化して市中や山野を飛び回っています。在来マルハナバチ(北海道では「種棲息」との交雑や巣の乗っ取りなど、在来マルハナバチの生態系を脅かす存在になりつつあります。

環境省は2005年に「外来生物法」を施行し、06年「セイヨウオオマルハナバチ」を「特定外来生物」に指定し、その拡散を防止しています。大雪山のお花畑の花たちは特定の「在来マルハナバチ」と「共生関係」にあります。大雪山のお花畑や在来のマルハナバチ類を将来に向け存続させていくためにも「セイヨウオオマルハナバチ」の防除が必要です。

当会では毎年6月下旬〜7月上旬に、「捕獲実技講習会」を旭川市緑が丘東1条・2条間の道路植込(ランベダー)付近で実施いたしております。『捕獲のお奨めスポット』です！



大雪山マルハナバチ市民ネットワーク



私たち「あさひかわ自然共生ネットワーク」は

自然や環境に関わる市民団体が連携し、自然と共生するまちづくりに貢献することを目的に活動しています。加盟団体の専門は幅広く、動物、植物、都市環境、河川環境、市民生活など多岐にわたっています。

お知らせ

会・団体に所属している方へ

仲間になりませんか？

年数回の運営・連絡会議、「緑の回廊展」や川の清掃活動などの自主事業を通じ、自然や環境をキーワードにそれぞれのテーマを持ちより情報交換をしています。各団体の活動が充実し、ともに自然と共生するまちづくりができるよう、活動を続けています。

「自然と共生する」このキーワードに沿って活動し、ネットワークの趣旨に賛同される団体がありましたら、ぜひ共に活動していきたいと願っております。関心を持たれましたら、どうぞ事務局までご連絡ください。貴団体の参加を心よりお待ちしております。

自然に興味があるみなさまへ

入会しよう・参加しよう

旭川市では、自然に親しみ、自然から学び、自然のあるべき姿を守ろうと多くの市民が活動を行っています。そうした市民の会や NPO 法人は、入会者を募集していたり、イベントへの参加を呼びかけたりしています。

身のまわりの自然に興味・関心をお持ちの方、こうした活動に参加してみませんか。加盟団体一覧をご覧になり、自分の関心に近い団体があればその団体が主催するイベントに参加してみてもいいでしょう。また、自然共生ネットワークが主催するイベント「緑の回廊展」にもぜひお越しください。団体の活動の様子を知ることができます。



自然共生ネットワーク自主事業「緑の回廊展」。パネル展示や体験教室など、楽しみながら活動のようすを知ることができます。



お問い合わせは...

あさひかわ自然共生ネットワーク事務局

(旭川市環境部環境総務課) まで

TEL 0166-25-9790

あさひかわ自然共生ネット

